

## 留学生の声エッセイ

### 経済学部 ネメシュ マールトン

#### 日本留学体験



私は現在、ハンガリーからの交換留学生として、経済学部で勉強しています。

昨年の秋学期は、多くのビジネス関連の授業といくつかの日本語の授業を受けました。

私のお気に入りには国際関係とグローバル政治でした。今年の春学期は、少ない言語の授業と、より多くのマーケティングとビジネス関連の授業を取っています。お気に入りにはスタートアップビジネス理論と日本文学です。

日本に来てからの経験は本当に素晴らしいものでした。着陸した瞬間から、国際部や関連する学生から多くの支援を受けました。最初の週には、東京に観光に行く機会があり、とても楽しい時間を過ごしました。



新国立競技場でのアドのライブは息をのむほど素晴らしかった

その後の秋学期には、運動会やクリスマスイベントなどもあり、素晴らしい時間を過ごしました。これらのイベント以外にも、学生たちは私たちを支援し、多くのプライベートな外出も楽しめました。

私は日本の大学生活に慣れました。全体的に、この2学期間、教授たちとの経験はほとんど良いものでした。彼らは皆、私たちをサポートしてくれました。

最初は日本語を話す自信がありませんでしたが、先生や JIST のメンバーの助けを借りて、この壁を乗り越えることができました。今では自信を持って話せます。漢字の読み書きにはまだ問題がありますが、大学や友達とのテキストのおかげで毎日目にすることで、スキルが向上したと感じています。

国際部の助けと支援のおかげで、半年間三味線を学ぶことができました。授業を受けることや、日本文化の別の側面を見ることが本当に楽しかったですが、残念ながら、スケジュールの都合で春学期に続けることができませんでした。

冬休みには他の交換留学生と一緒に関西を旅し、京都、大阪、奈良、神戸を体験することができ、日本文化に浸ることができました。



伏見稲荷大社の門は素晴らしかった



川越まつりの馬車は実にカラフルだった

また、友達と一緒に川越祭りを体験したり、EFT や英語を話すツアーガイドに捧げられた組織のおかげで、言語交換の遠足に参加することもできました。



住吉大社でおみくじを引いた

最近では、学生交流プログラムのおかげで、私の夢だった Ado のライブパフォーマンスに参加することができました。私はこの貴重な経験を通じて多くを学び、成長することができました。このエッセイを読んでいただき、ありがとうございます。また、大学が交換プログラムを提供してくれたことに感謝します。

(2024 年 5 月記)